

最も近い方から名付けられた。

臺だい（現 前林47番～49番・52番～54番）

1番～130番まで。宅地・田・藪・林・畑。

畑地造成にて一部変更となる。

中前田なかまえだ

1番～133番まで、畑

遠前田とおまえだ

1番～59番まで、畑

狐塚きつねづか

1番～78番まで、畑

寺ノ前てらのまえ（現 前林17番～51番まで）

畑地造成にて変更。宅地・田・畑・草地。

大昔寺院のあった頃よりの地名。

寺ノ南てらのみなみ（現 前林1番～68番まで）

畑地造成にて変更。宅地・田・山林・草地。

寺の南にあたり地名になった。

小林こばやし（現 前林26番～31番まで）

畑地造成にて変更。畑・山林。

下上野しもうわの（現 前林4番～11番まで）

畑地造成にて変更。畑・山林・草地。

●遺跡 上野遺跡、縄文・奈良・平安時代・塚四基を含む。

昭和六十二年（一九八七）発掘調査銅製経筒二個・古銭（寛

永通宝）六枚出土。

屈ノ目くつのみめ

1番～78番まで、田・畑

豊田たみだ

1番～72番まで、田

澤田さわだ

1番～29番まで、田

泥浮どろぶ

1番～61番まで、畑・田

沼地の様な土地で葦等が多く繁茂していたと云う。

百目貫ももめき

1番～77番まで、宅地・畑・田、現在住所名になっている。

馬ノ墓うまのはか

1番92番まで、宅地・田・畑、現在住所名。